

【評価実施概要】

事業所番号	150480036		
法人名	医療法人北武会		
事業所名	グループホームほくと		
所在地	〒006 - 0023札幌市手稲区本町3条4丁目2番5号 (電話) 011-681-7962		
評価機関名	特定非営利活動法人福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	〒060 - 0061札幌市中央区南1条5丁目7愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成20年1月31日	評価確定日	平成20年3月28日

【情報提供票より】(平成19年12月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 7 月 15 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤 16人, 非常勤 1人, 常勤換算	0.4人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	3 階建ての ~ 3 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	光熱費 10,000円
敷 金	有(40,000円)		冬季暖房 5,000円
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無
食材料費	朝食	350 円	昼食 430 円
	夕食	430 円	おやつ 123 円
	または1日当たり 円		

利用者人数	18 名	男性 3 名	女性 15 名
要介護 1	5名	要介護 2	6名
要介護 3	4名	要介護 4	3名
要介護 5	0	要支援 2	0
年齢	平均 85.8 歳	最低 67 歳	最高 101 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	北都内科クリニック、デイサービスセンターほくと
---------	-------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

手稲駅から徒歩10分、国道5号線に沿った交通至便な住宅地区に設置され、北都内科クリニックと併設、医療と介護の機能的連携のあるホームである。介護職員は常勤者によって構成され、親切さと活気のある介護に徹している。また、看護師が非常勤でこれを支えている。設備は病棟の改造によることから、廊下、トイレ、浴室の配置、消化装置等の配慮があり、個室、共用居間も明るく、居心地のよい空間となっている。地域連携や家族との関係を大切にしたり取り組みがあり、地域に支えられるホーム作りの姿勢が見られる。法人が経営する機関相互の関係を活かした、行事の運営などもあり、利用者に多様で豊かなサービスを提供するよう工夫をしている。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	地域への理解啓発、医療・介護・福祉の連携、緊急時の対応研修、など着実な改善充実に努めている。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
重点項目	職員の自己評価の取り組みは業務分担の上で、多くの職員が参加して業務の改善のための会議を重ねて、協議の成果をまとめている。
	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	会議は地域代表・家族・包括支援センターなどがその都度参加して、ホーム運営の課題、入所者の利益保護、地域の行事参加、ホームの見学・交流、広報のあり方、火災・災害対策と地域支援、利用者への地域支援など活発な協議検討がされている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	ホーム入り口の他人を気にしない場所に意見箱が設置されている。連絡・たより、家族訪問時での丁寧な対応で意見、苦情、不安、不満を吸収するよう努めている。また、家族を含む運営推進会議がこうした協議の場となり、関係者からの助言・指導の場として活かしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	運営推進会議が地域関係者とのホーム運営の接点となりつつあり、高齢者問題に関心の深い地域住民との交流、医療・介護の地域連携など、今後の連携に係わる課題が協議課題として検討されているので、現実的な成果として期待したい。

評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者家族の交流を含め家庭的な環境づくりと地域の一員として、地域に支えられる介護を目指した理念を作り上げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者と職員は理念を体して、日々のきめ細かな観察や申し送りなどで、利用者個々の処遇にあたっている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	家族にはきめ細かなたよりや連絡、地域とは運営推進会議などで着実に連携や行事の相互交流に努めるなど、成果を挙げつつある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価の本質を日々の業務の確認と反省・改善に活かすことを理解して、それぞれの役割りを認識して評価を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>会議委員の構成も均衡が取れていて、家族、町内会、民生委員、包括支援センターなどの協力を得て、ホームの理念に応じた運営の状況を確認し地域の協力関係の促進、センターの助言、家族の意向などが多様に検討されている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>包括支援センター、介護保険課などと管理者会議との交流、行政指導方針の確認など確実な運営に活かすような関係が出来ている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月、利用者の健康・生活状況、金銭管理の状況、行事の参加状況など連絡をして、家族の意向の確認、情報の授受の機会としている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>3階のエレベーターの前が玄関の役割を果たしていて、意見箱が置かれている。苦情などに対応しようとする姿勢は積極的で、家族の訪問時には日常の生活状態を伝えて信頼関係を高めるよう努めている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の充足状況は安定的な条件を維持している。離職にも早期に安定的な確保に努めて利用者にも対応している。</p>		<p>職員の離職時には家族の不安・利用者への対応に付いて、さらなる家族への通信の活用などで、安心や理解を求めるなどの工夫を期待したい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は法人の総合的な運営の観点から、職員の内部・外部研修、多様な職種との研修の場を設け、医療・看護と介護の連携を重視した研修をしている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	区内での管理者連絡会議での研修会、意見交換、ケース検討会議などで、サービスの質の向上がはかられている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人の生活状況を慎重に聞き、見学を勧め、家族の支援状況をうかがって、ホームの生活が家庭生活の延長であること、出来る力を活かせる場であるよう説明し、職員の対応姿勢を説明して、なじみのある環境・生活関係を説明している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者本意で自立支援を原則にする立場で、本人の意向、好み、出来ることへの促がしなど、寄り添い、支え合う関係作りに努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者の暮らし方、意向や希望の把握については、家族からの情報、本人の生活歴などで日頃の生活を含め、きめ細かに収集して、対応に努めている。</p>		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>本人の心身の生活状況・その変化を如実に観察し、記録にとどめ、家族の意向や医療従事者などの意向を含めて、介護計画の作成に当たっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画の見直しに当たっても、本人の心身の生活上の変化を観察し、定期的計画は当然、心身の変化に即応して、家族、関係従事者とともに協議の上計画変更が作成されている。</p>		
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>医療機関の受診、他施設への移転などの送迎など弾力的対応をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	併設する1階のクリニックでの即応した対応によって本人や家族の安心を得るほか、看護師対応を厚くするなどの方途があり、訪問歯科医による治療もしている。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	グループホームで出来ることと出来ないことを見極め、家族と十分に協議の上で、併設するクリニックの医師・看護師との連携ある処遇体制で望むような方針を共有している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	利用者の尊厳を第一にすること、個別性の保持、日常での処遇の徹底に十分な配慮が出来ている。言葉かけや対応の対等さなど、さらに個人記録の扱いなど優れている。		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	利用者のペースを大切にした1日の生活の流れを大切にした運営を大切にしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好みや志向を大切にするとともに、それぞれの力に応じた食事作りの参加と楽しみながらの食事環境を作るよう努めている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は目処はあるが利用者の希望に応ずるような対応をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ラジオ体操、嚙下運動、食事の準備、後片付け、自室の掃除など楽しく参加できるよう支援するとともに、くつろぎの時間は話し合いなどで利用者の力の引き出しに努めている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物、美容室などの利用を含め職員とともに外出の機会を作るよう努めている。多くは外出行事とともにしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	3階にあるホームであることから外出はエレベーターを用いることになるので、原則は居室等の鍵はかけていない。職員は拘束的認識はない。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>災害対策と訓練は実施している。地域との協力関係は推進会議で話題として提供されている。</p>		<p>地域との災害対策が、今後、検討を深められることを期待したい。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>利用者個々の食事量、水分量が記録され、個々の心身の状態に合わせた栄養や水分の補給と確保について支援するようにしている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用空間は採光、温度、湿度、換気に留意し、それぞれの居室、トイレ、浴室、洗濯場などの配置もよく、介護しやすく、利用者の共同性と個別性の生活が保てる工夫などがなされている。また、観葉植物の配置、全体の清潔感、消火装置の整備による安心感などのあるホームである。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>なじみのある家具、家族の配慮ある飾り物や、人形、小道具などが配置され和みを感じる居室の工夫がされている。</p>		

 は、重点項目。